

特許出願公告及特許拔萃

特許出願公告拔萃

枝管連設用の金屬突起形成装置 (13 年特許公告第 460 號, 公告 13-2-7, 東京市, 小笠原常雄) 焔道の上端開口に例へばトーチランプの噴焔管を接近せしめて焔を噴射することにより型に圍繞せられたる主管面を餘す所なく加熱し得ると共に突起形成用資料收容室を加熱し得て該室内に豫め接着媒劑及突起形成用金屬材料を收容し置きたる場合夫等を熔融して先づ媒劑を以て金屬材料を型内に供給して容易迅速に而も堅固に突起を接着形成し得ると共に其際主管に施せる防蝕被覆劑を焼増せさらしめんとする目的を以て, 主管の枝管連設部分に取付くる型と該型に圍繞せられたる主管面に焔を誘致する焔道と型の上端開口より高温排氣を主管に可及的觸れしめざる如く導出する排氣路と突起形成用資料を收容し之を主管面と同時に加熱する室と該室より型内に熔融せる接着媒劑を以て突起形成金屬材料を順次送入せしむる通路とを備へてゐる枝管連設用の金屬突起形成装置。

酸化アルミニウム (13 年特許公告第 473 號, 公告 13-2-7, 東京市, 向山幹雄) 膠狀水酸化アルミニウムの生成を阻止しアルミニウムを濾別洗滌其他取扱上容易なる形態として沈澱せしめ純度高き製品を生ぜしむる目的を以て, 粘土又は合珪酸礬土其他のアルミナ原料を水洗し膠狀質を去り殘餘を硫酸鹽となしアンモニア明礬に變し鐵其他の不純物を除去せるものより水酸化アルミニウムを沈澱せしむる場合にアムモニア明礬溶液に炭酸ガスとアムモニア又は重炭酸アムモニアを加へ炭酸ガス飽和状態の下に炭酸酸性に保ち互に作用せしめ硫酸基を硫酸アムモニウムに變ずると同時にアルミニウムを砂狀の結晶水酸化物並にアルミニウム及アムモニウムの炭酸複鹽として析出せしめ母液と分別し沈澱を加熱し炭酸及アムモニウムを揮散せしむることを特徴とする酸出アルミニウム製造法。

ロール鑄造法 (13 年特許公告第 503 號, 公告 13-2-9, 東京市 池田吉之丞) 芯部は靱性を保ちつゝロールの作用部分に於ては所要硬度を保ち更に兩軸部に於ては中性の硬度を保ちて堅牢なると同時に加工を容易ならしめたる優秀なるチルドロールを得んとする目的を以て, 上端開口せる鑄型内に該鑄型を共軸關係に縦貫する管を假植し該管の内側に芯料に適する資料と外側に所要硬度を保つべき資料とを夫々鑄型のロールの下方軸部に設けたる別個の湯口より鑄込み之等兩資料の固化に先立ちて管を抜き去り次で前記管の外側の湯口と鑄型の上方の開口端とより軸部の靱度及硬度を適度に保つべき配合資料を注加する工程を特徴とするロール鑄造法。

アルミナ製造法 (13 年特許公告第 578 號, 公告 13-2-16, 東京市, 向山幹夫) 極めて簡單なる手段により鐵分を除去し水酸化アルミニウムを結晶質として濾過洗滌其他取扱上便宜なる沈澱とし析出せしめ以て純度高きアルミナを製出すべからしむる目的を以てアムモニアの稀薄水溶液中に鐵分を夾雜するアルミニウム溶液を注加し温度上昇を阻止し常温附近の可及的低温度に於て反應せしめ鐵分を水酸化物として沈澱せしめアルミニウム分はアルミナ酸アムモニウムのアムモニア溶液として溶解し水酸化鐵其他の沈澱を除去せる後溶液は煮沸し加水分解し結晶質水酸化アルミニウムとして析出せしむることを特徴とするアルミナ製造法

輕量耐火スレート板製造法 (13 年特許公告第 581 號, 公告 13-2-16, 東京市, 日本耐火スレート株式會社, 外一名) 鋸屑を均一にセメント中に分布せしめ同時に其の凝固を促進し極めて簡単に輕

量にして釘着切削等木板と差異なき耐火板を生ぜしむる目的を以て鋸屑及飽屑を苛性アルカリ溶液中にて煮沸し軟化せる程度に止めたるものを主要材とし之を其儘セメント及石粉と混合密和し板狀に成形壓搾し凝固せしむることを特徴とする輕量耐火スレート板製造法

乾燥粉末粒子輸送ガスの射出筒口 (13 年特許公告第 607 號 公告 13-2-18, 亞米利加合衆國, インターナショナル, デ, ラボード, マニユファク, チュアリング, コーポレーション, リミテッド) 粉末粒子を筒口より相當面積の噴射として排出し此の噴射面積を通じて粉末粒子を出來得る限り平等に分布し且該粒子を之が被覆料として給與せらるべき表面に附着せしむべく充分なる速度にて噴射せしめ得る如き構造の筒口を得る目的を以て, 一端を開口し他端を閉塞し而して該閉塞端に向て傾斜せる内室を有し又該内室に通ずる多數の排出孔を片側に沿ひて有する射出筒口に於て該排出口の總面積を該筒口の最大面積の個所に於ける其の内面積より大ならしめたることを特徴とする射出筒口。

均質なる鉛銅合金の製造方法 (13 年特許公告第 615 號 公告 13-2-18, 大阪市, 松川達夫) 極めて偏析し易き鉛銅合金を容易に均質なる合金として得んとする目的を以て鉛及銅を主成分とする合金を造る場合に豫め鉛粉及銅粉の混和物を適宜なる型に改め加壓固結せしめ之を熔融點以下の温度に於て熱處理を施して焼結せしめたる合金を直接熔融せしむるか或は之を中間合金として熔融せる銅中に装入して熔解せしめ斯して得たる鉛銅合金の熔融點より餘り温度を上昇せしめず可及的速かに所要型に鑄造することを特徴とする鉛粉及び銅粉を用ひたる焼結合合金による均質なる鉛銅合金の製造方法。

銅合金 (13 年特許公告第 616 號, 公告 13-2-18, 北米合衆國 ウェスチング, ハウス, エレクトリック, エンド, マニユファクチュアリング, コムパニー) 種々の良好なる物理的特性並に高き導熱率及導電率を保有する銅基合金を得る目的を以て 0.1~5% のシリコニウム 0.05~10% の銀及其餘の銅を含む銅合金。

耐火物鑄造用鑄型の改良 (13 年特許公告第 618 號, 公告 13-2-18, 東京市, 旭硝子株式會社) 鑄型を組成する成分の硝子質生成量を低下せしむることに依り鑄型と鑄造生成物との結着を避け且鑄型を脆弱ならしめ以て鑄造生成物より鑄型を容易に除去し得べからしめんとする目的を以て, 硝子質を實質の組成として含有する耐火性鑄造物の粒子と硝子質を生成する成分は皆無なるか又は只其少量を含有するに過ぎざる豫め假焼したる耐火性物質の粒子との混合物より成る 1,800°C の温度に於て耐火性材料を鑄造する際に使用する鑄造。

多孔質素燒隔壁製造法 (特許公告第 620 號, 公告 13-2-18, 東京市, 中野芳三, 外一名) 耐熱耐蝕耐壓を具備する頗る耐久力強き多孔質の素燒隔壁を簡單にして且安價に製造する目的を以て, 豫め粉砕したる蠟石シャモット, ボーキサイト, マグネシヤクリンカーアラランダム等の耐火材料粉末に 1,500~1,600°C に燒成したる酸化チタニウム粉末及びセルロイド微粉末を加へ更に粘結材として木節粘土又は蛙目粘土等を混合密和して成型燒成することを特徴とする多孔質素燒隔壁製造法。

合金燒付方法 (13 年特許公告第 643 號, 公告 13-2-21, 廣島縣, 細本久一) 燒成中礫砂は鐵と合金粉末との密着熔融劑にして長石, 石英, 耐火粘土は合金粉末を包圍して氣化燒失を防止し且つ熔解金屬の落下を支持す礫砂は熔解温度低くれば燒成中最初流動燒

鐵面に誘導密着せしむ而して焼付を終りたる器物の冷却作用は金屬と非金屬は縮少率に着比あるを以て非金屬を自然分離剝脱せしめ完全なる合金焼付を種々の形狀を有する鐵器及鐵材に施工し得る目的を以て、硼砂、石英、長石の熔解粉末と銅、錫、亜鉛の合金粉末と耐火粘土及燒礬酸とを混合し清水にて練り合して塗料となし清淨したる鐵器或は鐵材に塗布し窯内にて焼成し冷却して非金屬を剝脱せしめて成る合金焼付方法。

アルミナ製造法 (13年特許公告第683號, 公告13-2-23, 東京市, 向山幹夫) アルミニウム鹽のアルミニウム分を一旦アンモニア鹽基性溶液となし夾雜せる鐵分を簡単に除去し溶解せるアルミニウム分を純度高きアルミナとして容易に回収せんとする目的を以て、鐵分を夾雜せるアルミニウム鹽の熔液を低温度に於て稀薄アンモニア水中に注加し鐵を水酸化物として沈澱せしめアルミニウム分は過剰のアンモニアの存在に於てアンモニア鹽に溶解せしめ鐵分を除去し後溶液にアルミニウム鹽の固形體を混和しアルミニウム分を析出せしむることを特徴とするアルミナ製造法。

鐵及鋼にニッケル、銅、亜鉛合金を鍍金する方法 (13年特許公告第687號, 公告13-2-23, 東京市, 平井準輔) 操業中煩雜なる調整を要することなく色澤良好にして防錆力頗る強く質緻密なるニッケル、銅、亜鉛合金の鍍金屬を容易に形成せしむる目的を以て、鐵、鋼に青化カドミウム及硫酸アンモニウム又は鹽化アンモニウムの溶液に葡萄糖及酒石酸を配合せる電解液に依りカドミウムを電氣鍍金する工程と之を熔錫湯中に通じカドミウムを焼付くと同時に錫を鍍着せしむる工程と後更に硫酸ニッケル又は硫酸ニッケルアンモニウムと醋酸銅と鹽化亜鉛とを青化アルカリ溶液に溶解し之に重亜硫酸曹達、炭酸アンモニウム、硼砂、酒石酸加里及サルフォン化するナフタリンを加へたる電解液中陰極とし懸吊しニッケル、銅及亜鉛を合金態として電鍍する工程との結合を特徴とする鐵又は鋼にニッケル、銅、亜鉛合金を鍍金する方法。

輕金屬合金 (13年特許公告第688號, 公告13-2-23, 獨逸國, ユンケルス, フルクツツオイク, ウント, モーレンウエルケ, アクチエンゲゼルシャフト) 極めて高き摩擦硬度を有する優秀なる輕金屬合金を得んとする目的を以て、銅1~12% 亜鉛03~12% 鐵2~10% 殘部はアルミニウムの合金より成る事を特徴とする輕金屬合金。

熔融せる鉛を鍍金する方法 (13年特許公告第689號, 公告13-2-23, 尼ヶ崎市, 濱田隆一) 従來の複雑なる操作及び工程を省き簡易に表面を滑かにし且つ熔融金屬に依る中間層として最小限度の薄き鍍着層を得て之れに熔融せる鉛を浸漬鍍金せんとする目的を以て、鐵又は銅鍍鑄等の金屬材料及其等の加工物に熔融せる鉛を鍍金せんとするに當り其れの間層として熔融せる錫又はカドミウム或は之等を含有せる合金中にアルミニウムを添加せしめたるものを豫め浸漬鍍金し然る後に熔融せる純鉛又は普通鉛或は合金せる鉛中に之を浸漬して鍍金することを特徴となす熔融せる鉛を鍍金する方法

亞酸化銅整流板の性質改善方法 (13年特許公告第690號, 公告13-2-23, 横濱市, 株式會社京三製作所) 極めて簡単に亞酸化銅整流板の正逆兩方向の性質を改善し特に比較的高温度に於て熱及逆方向の電壓に耐ゆる亞酸化銅整流板を得んとする目的を以て、銅板を略々1,000°C程度の高温度に於て加熱處理して其の表面に生ずる黑色酸化銅を除去したる後更に亞酸化銅皮膜を酸化處理する一工程を加へて亞酸化銅の一部を酸化銅に酸化する事に依り前記皮膜中に共存する酸化銅に對する亞酸化銅の割合を之を顯微鏡にて檢した

る時其の皮膜斷面が凹凸少なく且酸化銅及亞酸化銅の微細結晶を緻密に交錯分布して全體が暗點赤色をなす様調整する事を特徴とする亞酸化銅整流板の性質改善方法。

マグネシウム又はマグネジウムを主成分とする合金の浸漬的防蝕法 (13年特許公告第691號, 公告13-2-23, 東京市, 古河電氣工業株式會社) 防蝕性大なる防蝕皮膜を生成せしめんとする目的を以て、マグネシウム、又はマグネシウムを主成分とする合金より成れる被處理物を重クロム酸加里と黃血鹽との混合溶液内に浸漬することを特徴とするマグネシウム又はマグネジウムを主成分とする合金の浸漬的防蝕法。

鐵及非鐵金屬酸化鍍の製造法 (13年特許公告第719號, 公告13-2-25, 東京市, 三菱鑛業株式會社) 非鐵金屬殊に銅ニッケルコバルトを極めて有利に得んとする目的を以て、金屬含有物質をして次の如き温度即ち金屬或は金屬化合物は液狀々態にて鍍滓より未だ分離し得ざるも先づ酸化物の形にて存在する鐵の一部及附隨金屬の酸化物が海綿狀金屬に還元せらるゝが如き温度に於て行はるゝ還元操作を受けしめ該海綿狀金屬は更に温度を上昇し搖動又は攪拌等の操作をなすことに依り脈石成分に依り形成せられ半軟狀態にある鍍滓中に埋藏せられたる緻密にして且鐵合金化せる金屬塊に熔接合體せられ次に附隨金屬と合金化せられたる鐵塊が機械選鍍操作に於て鍍滓より分離せらるゝ事を特徴とする酸化物たる鍍石或は熔鍍生成物等より鐵の存在の下に殊に適當なるは廻轉管爐に於て非鐵金屬殊に銅ニッケルコバルトを得る方法

管の遠心鑄造方法 (13年特許公告第739號, 公告13-2-28, 亞米利加合衆國, インターナショナルデ, ラヴオード, マンコフアクチュアリング, コーポレーション, リミテッド) 鑄型の表面と接觸せる融熔金屬より鑄型に傳り更に鑄型を経て外部に逸出せらる可き該金屬の熱を鑄型の圓筒狀部分の全體に亙りて一様に適度に滯留せしむる如き外側冷却式金屬鑄型を使用し以て品質改良の鑄鐵管の製作を可能ならしめんとする目的を以て、粉末材料を混入せる輸送ガスの噴射を溝槽或は放下樋を用ひて鑄型の圓筒面上に指向せしめ而て鑄型内に鍍金層を注下するに先立ちて該鑄型の全長に亙りて延長せる放下樋に依り該粉末材料を圓筒内面に被覆し次で鍍鐵を此の被覆鑄型に注下して管を構成することを特徴とする冷却金屬遠心鑄型内に於る管鑄造方法。

ニッケル鍍より硫酸ニッケルの製造方法 (13年特許公告第753號, 公告13-2-28, 東京市, 三菱鑛業株式會社) 簡單なる方法により銅又は銅、砒素を含むニッケル鍍より之等の不純分を殆んど溶解せしむることなくニッケルを能率よく抽出せんとする目的を以て、ニッケル鍍を乾式製煉法によりて處理し鍍中のニッケル、銅、砒素の合計含有量の4分の1以上の硫黃を含有する如き鍍を生成せしめ粉碎して之に反應後の溶液毎1中100g以上の遊離硫酸を存在せしむる如く過剰の稀硫酸を以て壓力を加へ又は加へずして加熱しニッケルを溶解し次で不溶性殘渣を分ち又は分つ事なく液を冷却して硫酸ニッケルを晶出せしめ母液並に殘渣は反覆溶解工程に附する事を特徴とするニッケル鍍より硫酸ニッケルの製造方法。

鐵及鋼に銅亜鉛合金を鍍金する方法 (13年特許公告第755號, 公告13-2-28, 東京市, 平井準輔) 操業中煩雜なる調整を要することなく色澤良好にして防錆力頗る強く質緻密なる鍍金層を容易に形成せしむる目的を以て、鐵、鋼に青化カドミウム及硫酸アンモニウム又は鹽化アンモニウムの溶液に葡萄糖及酒石酸を配合せる電解液に依りカドミウムを鍍金する工程と次に之を熔錫湯中に通じカ

ドミウムを焼付くと同時に錫を鍍着せしむる工程と後更に醋酸銅及鹽化亜鉛を青化アルカリ溶液に溶解しクロム明礬又は硫酸クロム炭酸アムモニウム反酒石酸加里を加へたる電解浴中に陰極として懸吊し銅及亜鉛を合金態として鍍金する工程との結合を特徴とする鍍及銅に銅亜鉛合金を鍍金する方法。

低價値の炭坑廢棄物の燃焼の際に残留する灰より水酸化アルミニウムを收得する方法 (13年特許公告第785號, 公告13-3-2, 和蘭國, ジュール, ドーラン) 従來の此種の方法的の諸種の缺點を刈除して極めて簡易に且經濟的方法によりて低價値の炭坑廢棄物の燃焼の際に残留する灰分より純粹の水酸化アルミニウムを收得せんとする目的を以て, アルミニウムを含有する廢棄物特に炭泥, 線條のある石炭, 洗炭の廢石等に燃焼然に(純粹の灰分に基き計算して)約2.5%の酸化カルシウムを石灰乳の形態にて混加し或は之に對應する量の他のカルシウム, バリウム, ストロシウム及マグネシウムの化合物を混和し或は之等の物質の混合物を混加することを特徴とするアルミニウムを含有する廢棄物特に炭泥, 線條のある石炭及洗炭の廢石等を個々に又は混合して燃焼せしめ残留せる灰分を酸類特に鹽酸にて處理し斯くして生成せる鹽類を加熱し殘渣を洗滌し曹達液にて處理し酸化アルミニウムを曹達滴液により溶解し水酸化アルミニウムを攪拌によりて溶液より析出せしむることに依りて前記廢棄物より純粹の水酸化アルミニウムを收得する方法。

精選鍍, 鍍石又は此等と類似物質を燒結する裝置 (13年特許公告第789號, 公告13-3-2, 瑞典國, アンダース, ホルムベーク) 生成物に於ける過度の假燒を避けつゝ均質なる燒結生成物を極めて有効に收得せんとする目的を以て, 火焰を生ぜしむる熱源を備ふる爐(2)と燒結せるべき材料を爐に供給する供給導管(6)とを設け而も燒結せらるべき材料が送風器又は之と類似の裝置に依り爐内に壓入せしめらるゝ時, 火焰内を通過して爐の外側に在る燒結面の側壁に投付けられ斯くて材料をセメントせしめて燒結餅となす如く前記供給導管を配置せしめたる事を特徴とする燒結せしめらるべき材料を燃焼帶域内を通過せしめ燃料を加へ又は加へずして精選鍍鍍石又は此等と類似の粉狀物質を燒結する裝置。

被覆熔接棒製造方法 (13年特許公告第788號, 公告13-3-2, 東京市, 三菱重工業株式會社) 被覆が強固, 耐水性にして熔接の際還元性電弧を發生せしめ又熔融中は流動性に富み固化したる場合は脆弱にして除去し易き鍍滓を生成せしめ以て熔融作業を容易にし且熔着金屬を健全強靱ならしむる被覆熔接棒を得る目的を以て, 珪酸曹達(SiO₂ 37~37.5% Na₂O 17.7~18.6% 約0.2%の酸化鐵及殘部水にして20°Cに於てポーメー比重計が約60°Cに靜止するもの)5~55分(重量比とす以下之に倣ふ)と水飴(麥芽糖化飴にして20°Cに於てポーメー比重計が約50°Cに靜止するもの)5~35分とを配合し之を糊料として熔接棒被覆劑100分に加へて被覆することを特徴とする被覆熔接棒製造方法。

金属材料屈曲試驗裝置 (13年特許公告第807號, 公告13-3-4, 神戸市, 株式會社神戸製鋼所) 180度以内の如何なる屈曲試驗に於ても試験片に局部的不自然なる變形を與ふることなく圓滑なる理想的屈曲試驗を迅速に遂行し得る簡易なる裝置を得んとする目的を以て, 上下2個の轉子を有し且相互の距離を調節し得べく架臺上に特設したる2個の轉動子と各試驗條件に適應する方法及形狀を有する押金物とを有し試験に際し上方轉子間に架渡したる試験片の中央部を押金物を以て壓下したる試験片は漸次屈曲せられて其の屈曲部外面が下方轉子に接觸したる後は轉動子の轉動により支點距離

を自然的に縮小せらるべく爲したる事を特徴とする金属材料屈曲試驗裝置。

アルミニウム又は其合金の乳白色防蝕性皮膚生成法 (13年特許公告第817號, 公告13-3-4, 東京市, 株式會社日立製作所) 簡易なる操作に依り目的物の表面に乳白色の美麗なる耐蝕耐摩耗性皮膚を形成せしめんとする目的を以て, 硫化アルカリの水溶液に枸橼珪アンモン(硼酸アンモン炭酸アンモン等の弱酸のアムモニウム鹽或はモリブデン酸アンモンタングステン酸アンモン等の酸性酸化物のアンモニウム鹽の一種又は數種及びグリセリンを添加し之に遊離のアンモニヤを存在せしめたるものを電解液となしアルミニウム又は其の合金の陽極處理を施し美麗なる乳白色の皮膚を生成せしむることを特徴とするアルミニウム又は其の合金の乳白色防蝕性皮膚生成法。

珪酸ニッケル鍍の處理法 (13年特許公告第818號, 公告13-3-4, 横濱市, 熊谷三狭男) 利用困難なる珪酸質ニッケル鍍を最も適當せる方法を以て處理して經濟的にニッケルを抽出せんとする目的を以て, 珪酸質ニッケル鍍の比較的マグネシウム少くして鐵含有量多きものを其の造鹽基成分に相當するよりは遙に少量にして且其のマグネシウム及ニッケル含有分に相當するよりは等量若くは僅か多量の硫酸を用ひ加熱處理に依りて優先的にニッケルを硫酸鹽の形に於て中性液として抽出する工程と珪酸質ニッケル鍍の比較的マグネシウム多くして鐵の含有少きものを焙燒して珪酸マグネシウムを一部酸化マグネシウムに分解し前工程に於て得たるニッケル抽出液に添加し該溶液中のニッケル分をマグネシウムにて置換し之を水酸化ニッケルとして沈澱せしめ焙燒物中の珪酸ニッケル中のニッケル分と合せしむることによりてニッケルを濃集する工程との結合より成る珪酸質ニッケル鍍の處理法。

銅合金 (13年特許公告第819號, 公告13-3-4, 北米合衆國ウエスチングハウス, エレクトリック, エンド, マヌファクチャリング, コムパニー) 銅に比肩し得る高き導電性及導熱性を保有し然も機械的性質良好なる銅合金を得る目的を以て0.01~5%の銀, 0.05~5%のクロミウム及其餘の銅を含む合金。

特許明細書拔萃

特許番號	名 稱	特許權者	鐵と鋼
123313	鐵板鍍鉛法	松澤利治	なし
123324	銀箔押紙	三浦孫二	〃
123344	連續式硫黃抽出裝置	佐々木孝造外1名	〃
123379	アルミニウム若くは其合金に耐酸性皮膚を形成せしむる方法	本郷本外2名	〃
123395	高抵抗體製造方法	品川電機株式會社	〃
123460	硫黃回收方法	昭和人絹株式會社	〃
123464	鐵鋼亞鉛類の防銹劑製造法	太田千代司	〃
123482	珪酸ニッケル鍍の浮游選鍍法	日本電氣工業株式會社	〃
123486	鐵又は非鹽狀性質を有する類似の不溶性の細分せられたる不純物の懸濁片を除去しつゝ高含有率のマグネシウム合金を製造する方法	イー, ゲー, フアルベンインヅストリー, アクチエンヂゼルシャフト	〃
123512	磁力偏析に依る含鐵アルミニウムの精製法	大日方一司	〃
123533	内燃機關用燃料油處理法	渡邊圭祐	〃